

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272100744		
法人名	社会福祉法人柏友会		
事業所名	グループホーム桑寿園		
所在地 (電話番号)	〒038-3104 青森県つがる市柏桑野木田字若宮255番地1 (電話) 0173-25-2115		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 7月 11日	評価確定日	平成 19年 9月 4日

【情報提供票より】(平成 19年 6月 23日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 2月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	19 人	常勤	17 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 19.5

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1(1棟)・2(2棟)	階建ての	1階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,500 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		780 円

(4) 利用者の概要(6月 23日現在)

利用者人数	27 名	男性	4 名	女性	23 名
要介護1	9 名	要介護2	6 名		
要介護3	10 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.8 歳	最低	72 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	川崎胃腸病院・布施病院・平田歯科医院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所独自の理念に基づいて、利用者の心の満足を達成するための取り組みがされている。建物内には入居者の方の作品が飾られており、共有空間・居室共に明るくのんびり過ごせる落ち着いた雰囲気がある。入居者・家族の希望を取り入れた介護計画の作成や残存機能を活かしたケアの必要性について職員が理解しており、実施に取り組んでいる。入居者の方々は、生活歴や趣味・嗜好を捉えた支援がされているからか、生き生きしており、表情も明るい。職員の育成については、積極的に外部・内部の研修への参加がされており、共通の意識を持って、入居者への支援が出来るよう努めている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	利用者の状態把握と対応のために、記録に残しておくよう取り組んでいるところであり、今後に期待したい。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員の異動があったためか、今回の自己評価によりケアに対する視点に職員間でズレが生じていることが課題となったため、統一された支援がされるよう、内部研修を計画し改善を目指している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は定期的開催されており、運営体制や状況についての報告や意見交換がされている。また地域の情報を収集し、サービスに活用している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	家族との関わりについては、面会時に報告や要望を引き出す配慮がされており、介護計画にも取り入れられている。また通信の発行によりグループホームの状況の理解を得られるよう働きかけがされている。金銭管理についても必ず家族に確認してもらい、安心と信頼関係が保たれるよう努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	管理者は地域の自治会に入っており、また入居者の方々は季節ごとに地域行事に参加し交流が図られてる。社会福祉協議会が隣接しており、併設施設も含め協力体制がとられている。今後も継続されるよう期待する。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念が作られており、職員はその意義を認識し「心の満足かなえます、あなたの笑顔が見たいから」を目指し援助されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、職員の名札の裏に表記されている3つの理念を唱和しケアされ、入居者に満足を与えるよう取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	管理者は地域活動の自治会に参加されており、地域行事である念仏講、虫送り等で地域との交流を深めている。また桑寿祭りが毎年行われ、近所の方や婦人部等、地域の方が総出で参加し生まれ、地域貢献に努めている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	会議で評価の意義や目的を理解してもらい、自己評価を記入することにより、今後の課題に気付き改善に向けて取り組まれている。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を実施し、地域からのアドバイスや情報をサービスに取り入れ、活用するよう努めている。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	サービスの向上に向けて意見交換を充実させ、またサービスに取り入れている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護事業や成年後見制度の資料をファイルにまとめて、いつでも確認できるようにしている。また、必要な入居者には活用できるよう支援がされている。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的、心理的な虐待防止に努めている。またファイルを作り閲覧されている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者・家族の方への不安・疑問に対する説明が十分に成されており、理解・納得が図られている。		
10	12	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	緊急の際はすぐに連絡・報告がされており、近況は面会時に報告されている。金銭管理は明細と領収書のコピーが毎月まとめて送付され、面会時出納の確認印をもらっているなど、報告が充分なされている。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設の窓口やその他の機会もあることを家族へ説明がされており、意見収集や反映に努められている。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動を少なくし、利用者への影響を配慮する支援が行われている。職員交替時には利用者・家族への説明がされ、通信でも職員の紹介がされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新職員の育成への取り組みや年3回の内部研修が行われ、共通の意識を持ってもらうよう取り組まれている。また外部研修への参加をし、報告と復命書の閲覧等行われており、考える介護を目指し取り組まれている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>全国及び地域の研修参加や現場実習の受け入れにより職員間の交流を勧め、サービスの質の向上に取り組まれている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居者本人・家族が安心して利用できるよう、事前の見学や自宅・入院先への訪問をされており、受け入れのためのケア会議を実施している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食材の皮むき作業やお花を生ける等共に過ごし、支え合う関係が作られている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の思いや意向を引き出すように普段の生活の観察・会話に努め、サービスに取り入れている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>月2回のケア会議が行われ、本人の意向と家族の希望を介護計画に取り入れて作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の見直しが月に1回、モニタリングが3ヶ月に1回行われている。また、期間内に現状に合わない変化が生じた場合はその都度見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>機能低下でリハビリが必要な時は、併設施設と連携をとり、柔軟な支援がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前の状況を把握している在宅時の主治医に継続して、定期受診がされている。緊急時の協力も得られるよう連携がとられている。又、年1回入居者の健康診断が行われている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期については入所時に確認をし、状況に応じて話し合いがなされ、方針が共有されている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の尊厳を大切にされたケアがされており、記録は不適切な言葉遣いはされていない。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の希望は出来るだけ叶えるよう支援されている。日常の過ごし方も無理強いせず、本人のペースに合わせた生活の支援がされている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事を楽しむことのできるよう準備・後始末に役割が持たれている。食事中も見守りやさりげない援助がされ、会話を楽しくして食事が摂られている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>毎日入浴があり、また併設施設に温泉があるため、希望に合わせて援助している。拒否の強い方には言葉掛けを工夫し、入浴できない方には清拭・足浴がされている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>畑作り、花の手入れ、家事、カラオケ等利用者に合わせた役割を持っていただき、張りのある生活の支援をしている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>病院受診や理美容院への外出の支援がされ、広い園庭での散歩や菜園作りに出かけている。又、月1回は花見・わらび採り・花菖蒲まつり見学等の支援がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束は行っておらず、身体拘束廃止委員会が設置されている。また、マニュアルはいつでも閲覧できるようにしている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は玄関に施錠せず、見守りが強化されている。玄関には出入りの際、音が出るよう工夫されている。夜間は戸締りの為施錠している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の協力を得ながら併設施設と共に年1回防災避難訓練が実施されている他、会議で非難経路の確認等がされている。</p>		<p>利用者と共に年間を通じての避難訓練の実施・記録を期待したい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士による献立を基に旬のものを取り入れている。栄養面は偏りがなくバランスが確保されている。食事摂取不良時は嗜好を取り入れた食事を提供している。</p>		<p>脱水予防の為毎日の水分摂取量の記録を期待したい。</p>
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>併設施設の管理栄養士・看護師により感染症マニュアルが作成され、活用されている。流行時にはうがい・手洗いを徹底し、飲み物に生姜湯を使い予防に努めている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>全体的に落ち着いた雰囲気でも過ごされ、居間や廊下には手芸や飾り付けにより季節感があり、工夫がされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具、日用品、本人の作品等居心地よく過ごせる空間が保たれている。</p>		

 は、重点項目。